

# 日光医療センター通信

～いろは～



獨協医科大学日光医療センター  
Dokkyo Medical University Nikko Medical Center

第 52 号  
2025.9



中禅寺湖（栃木県日光市）

主な内容

診療紹介（心臓・血管・腎臓内科）	2
部門紹介（病理部）	3
外来担当医一覧	5
連携医療機関認定病院紹介／編集後記	6



診療紹介 シリーズで当センターの診療内容についてご紹介いたします。

## ▶ 心臓・血管・腎臓内科

私たち心臓・血管・腎臓内科は、日光市エリアにおける循環器診療の中心的な役割を担い、高度で先進的なチーム医療を提供しています。特に心臓や血管の病気は突然悪化することもあるため、当科では24時間365日対応できる救急体制を整え、迅速かつ的確な診療を行っています。

狭心症や心筋梗塞などの冠動脈疾患に対しては、年間200件以上の経皮的冠動脈形成術を実施しており、難易度の高い症例にも積極的に取り組んでいます。また、末梢動脈疾患に対するカテーテル治療やバイパス手術、不整脈に対するペースメーカー植え込みも行っています。

また、当科では心臓病の再発や進行を防ぐために、心臓リハビリテーションにも力を入れています。特に心不全に対しては、退院時からリハビリを導入し、慢性期まで一貫したサポート体制を整えています。

腎臓病にも幅広く対応しており、末期腎不全の患者さんへの透析導入や、心臓や血管の病気を併した方の維持透析、透析用シャントのカテーテル治療・血管手術も行っています。

また、拡張型心筋症、肥大型心筋症、心アミロイドーシス、心サルコイドーシス、高安動脈炎、心ファブリー病など、専門的な診療を要する「心血管難病」にも積極的に取り組んでいます。これらの病気はまれですが、心臓や血管の働きに大きな影響を及ぼすことがあるため、早期発見・早期治療が非常に重要です。当科では、各分野の専門医が連携し、最新の医学的知見に基づいた診断と治療を行っています。

近年、がん治療の進歩により、治療後も長く生活される「がんサバイバー」の方が増えています。こうした中で注目されているのが、がんと心臓・血管の病気を併せ持つ患者さんへの対応です。がん治療による心機能の低下や血栓症、不整脈などのリスクに備え、当科では「腫瘍循環器外来」を設け、がん患者さんやがんサバイバーの方々の健康と生活の質の向上を目指したサポートを行っております。

私たちはまた、獨協医科大学大学院の医工学講座として、心臓・血管・腎臓に関する最先端の医学研究にも力を注いでいます。微小循環の異常や免疫異常に関わる分子メカニズムの解明、リハビリテーションの効果に関する研究など、患者さんの未来につながる研究を日々行っています。

若手医師の教育にも注力しており、専門性と総合力を兼ね備えた「ジェネラリストの素養を持つスペシャリスト」の育成を目指しています。地域の皆さまに信頼される診療体制づくりに、教室一丸となって取り組んでおります。

当センターは大学病院でありながら、紹介状なしでも受診が可能です。「大学病院は敷居が高い」と感じられる方も、どうぞご安心ください。心臓・血管・腎臓に関するお悩みがありましたら、お気軽にご相談ください。

部門紹介 シリーズで当センターの各部門をご紹介します。

## ▶ 病理部

### 病理部の仕事とは・・・？

身体に異常が見つかった場合、適切な『治療』を受けるためには適切な『診断』が必要になります。そこで、臨床医（内科医、外科医など）は病変が存在すると思われる部位から組織や細胞、または体液を採取し、その材料が病理部へ届けられます。病理部では、届けられた材料から臨床検査技師が顕微鏡で観察できるようガラス標本を作製します。その後『診断』を専門とする『病理医』が顕微鏡で観察して異常の有無を検索し、『診断』すなわち『病理診断』を行います。この一連の流れを『病理検査』と言います。主治医はこの病理診断を基に治療の方針を決定します。従って、病理部とは、『臨床医に診断・治療に役立つ情報を提供している部門』と言えます。

### 【主な業務】

#### 1. 病理組織検査

内視鏡検査や手術など、病変部から採取・摘出された組織検体について、必要な固定処理からパラフィンブロックを作り、厚さ3 $\mu$ m程度に薄切した切片をガラスに載せ、染色工程を経て標本が作製されます。その後、病理医が『病理診断』を行います。現在、対象の腫瘍に特化した特定の治療を行うためのコンパニオン診断（免疫組織学的染色、遺伝子検査）にも対応しています。また、必要に応じて『迅速診断』を行い、手術中に情報を提供します。



薄切画像



パラフィンブロック



薄切切片



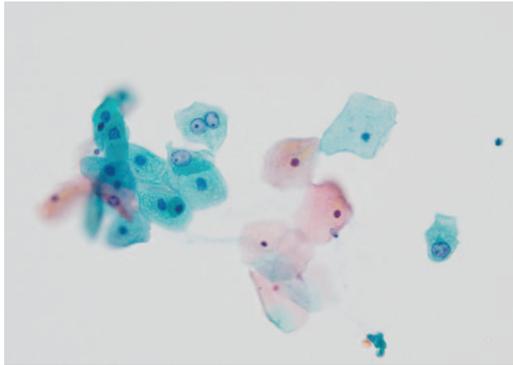
スライド未染



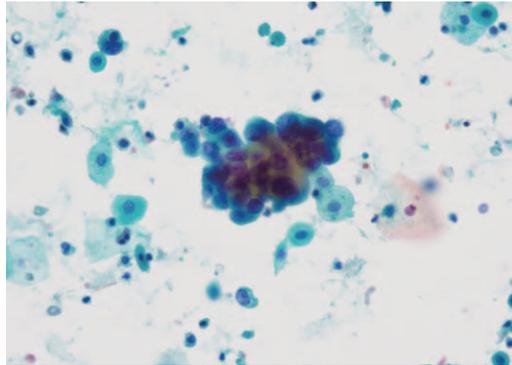
スライドHE

## 2. 細胞診検査

体腔や分泌物に脱落した細胞《喀痰、尿など》や、病変部から採取された細胞《気管支、乳腺、甲状腺、膀胱など》についてガラス標本を作製し、染色を行った後、顕微鏡で細胞学的異常の有無を検索します。最初は『細胞検査士』という資格を持った臨床検査技師が細胞のチェックを行います。『悪性細胞』、『悪性を疑う細胞』、『良性・悪性のいずれとも判定しがたい細胞』が見られた場合は、病理医が再度チェックを行い『細胞診断』を行います。



尿中正常細胞



尿中異型細胞

## 3. 病理解剖

患者さんが不幸にも亡くなられた際、必要に応じて御遺族承諾のもと、詳細な死因の究明や治療法の評価のため『剖検（病理解剖）』を行っています。

### スタッフ

病理専門医・細胞診専門医 1名

臨床検査技師4名（細胞検査士2名含む）（いずれも臨床検査部兼務）

### 最後に

病理部は、正確かつ迅速な組織診断、細胞診断をモットーに、病気の診断・治療に必要な部として常に的確で精度の高い検査を行うよう、日々努力しております。



## 連携医療機関認定病院紹介 しいな整形外科クリニック

しいな整形外科クリニックは、獨協医科大学日光医療センターから南に約21Kmの鹿沼市上殿町にあり、整形外科・リハビリ・リウマチ・骨粗鬆症・アンチエイジングまで幅広い診療を行う地域密着型クリニックです。敷地内はバリアフリーで段差がないため、お足元にご不安をお持ちの方も安心してご利用いただけます。

お薬で改善しきれない症状が、リハビリで改善できることも多いため、当院は「リハビリ」にも力を入れています。経験豊富な柔道整復師・理学療法士による徒手療法に加え、最新機種を含む多彩な物理療法の機器をそろえているので、個々の病状に合わせた最適なりハビリメニューを組み立てることができます。様々な治療選択肢があるため、きっとご自身に最適な治療が見つかることでしょう。

最近では毎年1回ずつ当院主催の野球教室とバレーボール教室（現役プロ選手が講師）を開催し、参加された小中学生に大変好評をいただいております。また、各種大会でのスポーツドクターも積極的に行い、近隣のスポーツ活動をサポートしていくことにも注力しています。

アットホームな落ち着いた雰囲気、みなさまのためにしっかりと寄り添った医療ができればと考えておりますので、何卒よろしく願いいたします。



この地域におきましては先進医療のほかへき地医療、災害医療などなくてはならない医療機関の一つですので、開業医へのご助言を含めよろしくお願いいたします。

### 編集後記

日光医療センターの病院広報誌をご覧くださいありがとうございます。4月に加わったスタッフたちも就職してから半年が経過し、当センターの仕事内容にも慣れてきた様子です。より一層患者様一人ひとりに寄り添った医療を提供できるよう、努めて参ります。今号では、心臓・血管・腎臓内科と病理部に関して、また連携医療機関認定病院についてご紹介しました。これからも日光地域の皆様に信頼と安心をお届けできる病院を目指して日々努力してまいります。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。(H.O)

### 日光医療センター通信 ～いろは～ 第52号

〒321-1298 栃木県日光市森友145-1 TEL 0288-23-7000(代表) FAX 0288-23-5000

<https://www.dokkyomed.ac.jp/nmc/>

発行年月/令和7年9月

編集・発行/獨協医科大学日光医療センター  
広報・マーケティング委員会

印刷/株松井ピ・テ・オ・印刷

看護師募集サイトはこちら

<https://www.dokkyomed.ac.jp/>

[nmc/recruit-nurse/](https://www.dokkyomed.ac.jp/nmc/recruit-nurse/)

または、右記のQRコードを読み取り  
アクセスして下さい。

